

平成23年度福岡県  
クリーニング師試験問題  
( 筆 記 )

平成23年9月9日

指示があるまで開いてはいけません

【受験上の注意】

- 1 携帯電話の使用は禁止します。電源を切って、配布した封筒の中に入れカバンにしまうか、または、カバンがない場合は机の上に置いてください。
- 2 机の上には、「受験票」、「筆記用具」、「時計」以外のものを置いてはいけません。
- 3 試験時間は、13時から14時15分までの1時間15分です。
- 4 試験開始後30分間は退室できません。30分経過してから退室するときは、手をあげて係員に知らせ、答案用紙が回収された後に許可を得て退出してください。
- 5 試験問題用紙は持ち帰って構いません。

## 衛生法規に関する知識

問1 次の文は、クリーニング業についての記述である。文中の（ ）に当てはまる最も適当な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a この法律は、クリーニング業に対して、（ ① ）の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、（ ② ）の利益の擁護を図ることを目的とする。
- b クリーニング業とは、（ ③ ）を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- c クリーニング所の営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び脱水機をそれぞれ少なくとも（ ④ ）備えなければならない。
- d クリーニング所を開設しようとするときは、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者等必要な事項を（ ⑤ ）都道府県に届けなければならない。

【語群】

- ① {ア：生活衛生等      イ：環境衛生      ウ：公衆衛生等}
- ② {ア：利用者      イ：経営者      ウ：国民}
- ③ {ア：クリーニング師      イ：溶剤又は洗剤      ウ：洗たく機及び乾燥機}
- ④ {ア：1台      イ：2台      ウ：3台}
- ⑤ {ア：開設後5日以内      イ：開設後10日以内      ウ：あらかじめ}

※【語群】の⑤の選択肢「イ：開設後10日以内」は「イ：開設後10日以内」の誤りである。

問2 次の文は、クリーニング師の免許についての記述である。文中の（ ）内に当てはまる最も適当な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入してください。

- a クリーニング師の免許を受けようとする者は、申請書に戸籍の抄本等の必要書類をそえてクリーニング師試験合格地の（ ① ）に申請しなければならない。
- b クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して（ ② ）の刑に処せられたときは、免許を取り消すことができる。
- c 免許証の再交付申請後、失った免許証を発見したときは、（ ③ ）以内に免許証を提出しなければならない。
- d クリーニング師は、免許証を（ ④ ）することによって登録の抹消を申請することができる。
- e クリーニング師は、その（ ⑤ ）又は氏名を変更したときは、10日以内に、訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。

【語群】

- ① {ア：市町村長      イ：厚生労働大臣      ウ：都道府県知事}
- ② {ア：禁固以上      イ：罰金以上      ウ：懲役以上}
- ③ {ア：3日      イ：5日      ウ：10日}
- ④ {ア：返納      イ：廃棄      ウ：郵送}
- ⑤ {ア：住所      イ：生年月日      ウ：本籍}

問3 クリーニング業法第3条の2の利用者に対する説明義務等に関し、次の文の( )内に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a クリーニング業法第3条の2は、利用者に対する説明義務等を記載し、クリーニング所の営業者は、( ① )をしようとするときは、あらかじめ利用者に対し、洗たく物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- b クリーニング所の営業者は、( ② )で定めるところにより、利用者に対し苦情の申出先を明示しなければならない。
- c クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の( ③ )、( ④ )、( ⑤ )を掲示しなければならない。

【語群】

ア：営業	イ：洗たく物の受取及び引渡し	ウ：営業者名
エ：厚生労働省令	オ：従事者の氏名	カ：名称
キ：クリーニング師の氏名	ク：所在地	ケ：電話番号

問4 次の文の( )内に当てはまる最も適当な語句を同じ番号を下記の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a 都道府県知事は、クリーニング所の営業者又はその使用人で業務に従事するものが( ① )にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認めるときは、期間を定めてその業務を( ② )することができる。
- b クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、厚生労働省令で定めるところにより、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定したクリーニング師の資質の向上を図るための( ③ )を受けなければならない。
- c 都道府県知事は、必要があると認めるときは、当該職員に、( ④ )又は( ⑤ )に立ち入り、営業者の衛生措置等、説明義務等、クリーニング師の設置等の実施状況を検査させることができる。

【語群】

ア：伝染性の疾病	イ：突発性の疾病	ウ：取消し
エ：停止	オ：研修	カ：調査
キ：クリーニング所	ク：営業所	ケ：業務用の車両

## 公衆衛生に関する知識

問1 次の文中の（ ）に当てはまる最も適切な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a われわれが日常受けている紫外線は波長（ ① ）<sup>ナノメートル</sup> n m の範囲のものである。  
b 日光紫外線のうち、320<sup>ナノメートル</sup> n m 付近の紫外線は（ ② ）の生成を助け、（ ③ ）予防の働きをするので、（ ④ ）とよんでいる。  
c 赤外線は、波長が（ ⑤ ）<sup>ナノメートル</sup> n m より長いものをいい、熱作用が著しい。

### 【語群】

- ① {ア：150～550 イ：200～500 ウ：300～400}  
② {ア：ビタミンB1 イ：ビタミンC ウ：ビタミンD}  
③ {ア：くる病 イ：夜盲症 ウ：壊血病}  
④ {ア：予防線 イ：健康線 ウ：生命線}  
⑤ {ア：600 イ：800 ウ：1000}

問2 次の文は、消毒効果を有する洗たく方法に関する記述である。文中の（ ）に当てはまる最も適切な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a 洗たく物を（ ① ）℃以上の熱湯で10分間以上処理する。  
b さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素が250 p p m以上の液に（ ② ）℃以上で5分間以上浸し、終末遊離塩素（ ③ ）p p m以上になるような方法で漂白する。  
c パークロロエチレンに（ ④ ）分間以上浸し洗たくした後、パークロロエチレンを含む状態で50℃以上に保たせ、（ ⑤ ）分間以上乾燥させる。

### 【語群】

- ① {ア：60 イ：80 ウ：90}  
② {ア：30 イ：50 ウ：70}  
③ {ア：50 イ：100 ウ：150}  
④ {ア：5 イ：10 ウ：15}  
⑤ {ア：10 イ：20 ウ：30}

問3 次のA群と最も関係の深いものをB群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- | <A群>        | <B群>           |
|-------------|----------------|
| ① 悪性新生物     | ア：肥満度          |
| ② 特別管理産業廃棄物 | イ：世界貿易機関       |
| ③ BMI       | ウ：がん           |
| ④ 視床下部      | エ：間脳           |
| ⑤ WHO       | オ：高病原性鳥インフルエンザ |
|             | カ：国連食糧農業機関     |
|             | キ：シラクモ         |
|             | ク：世界保健機関       |
|             | ケ：マニフェスト       |

問4 次の文は、感染症の予防対策に関する記述である。文中の( )に当てはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

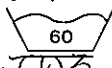
- a 感染症発生時の流行防止対策としてまず行われるべき重要なことは、( ① )の発見とその隔離、( ② )である。
- b ( ③ )感染に対しては、手洗いの励行、食物の衛生的取り扱い、タオルや食器などの共用を避ける。  
( ④ )感染に対しては、人混みを避ける、マスクの使用やうがいなどが有効であることが多い。
- c ( ⑤ )は宿主に対して特異的免疫を与え、感染を防ぐ上で最も効果的方法の1つである。

【語群】

- |      |      |       |        |       |
|------|------|-------|--------|-------|
| ア：宿主 | イ：経口 | ウ：感受性 | エ：予防接種 | オ：感染源 |
| カ：経皮 | キ：服薬 | ク：経気道 | ケ：除去   | コ：機械的 |

## 洗たく物の処理に関する知識

問1 次の文は、繊維素材、繊維加工、及び品質表示についての記述である。文中の（ ）に当てはまる最も適当な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a 繊維の中で一番汚れが落ちやすいのは（ ① ）である。  
 b ナイロンは合成繊維であり、適正アイロン温度は（ ② ）℃くらいである。  
 c  は、液温は 60℃を限度とし、（ ③ ）で洗濯機による洗濯が出来る事を表わしている。  
 d （ ④ ）は原則、水洗い、シミ抜き、及びアイロンを安易に行ってはならない。  
 e 繊維製品の素材の組成は、「家庭用品品質表示法」に基づき表示される。混用した組成の表示は、ポリエステル 60%、綿 40%のように（ ⑤ ）で明示することになっている。

【語群】

- |     |          |           |            |
|-----|----------|-----------|------------|
| ① { | ア：羊毛     | イ：ナイロン    | ウ：ポリエステル}  |
| ② { | ア：90～110 | イ：110～130 | ウ：130～150} |
| ③ { | ア：普通の操作  | イ：弱い操作    | ウ：非常に弱い操作} |
| ④ { | ア：ベルベット  | イ：サテン     | ウ：ジャカード織}  |
| ⑤ { | ア：体積比    | イ：面積比     | ウ：重量比}     |

問2 次の文はクリーニングにおける基礎知識についての記述である。下記の語群から最も適当なものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a クリーニングを大別すると、水を使用し、石けんや洗剤を用いて機械洗するランドリーと、（ ① ）を用い弱い機械洗するウェットクリーニングと、揮発性有機溶剤等を使用するドライクリーニングに分類される。  
 b 汚れは、ドライ洗剤で落ちる汚れ、水やソープで落ちる汚れ、機械的な作用で落ちる汚れ、薬品で落とす汚れの4つに大別される。このうち、ドライクリーニングで、汚れの（ ② ）を落とす事ができる。  
 c 低温で漂白効果があり、綿等のセルロース系繊維に適し、絹、ナイロンには使用できない漂白剤は（ ③ ）である。  
 d 界面活性剤は、「イオン性」で分類すると、カチオン系とアニオン系及び（ ④ ）系の3種類がある。カチオン系界面活性剤とアニオン系界面活性剤を併用すると、両者が化学的に結合して効果が減殺される。  
 e プラスチック製ファスナーは、軽くて摩擦に強いが、クリーニング及びプレス時には必ず（ ⑤ ）で行う。

- |   |                           |                          |                           |
|---|---------------------------|--------------------------|---------------------------|
| ① | {ア：石けん                    | イ：中性洗剤                   | ウ：軟化剤}                    |
| ② | {ア：40～60%                 | イ：60～80%                 | ウ：80～90%}                 |
| ③ | {ア：次亜塩素酸ナトリウム             | イ：過酸化水素                  | ウ：ヒドロサルファイト}              |
| ④ | {ア：非イオン                   | イ：陽イオン                   | ウ：陰イオン}                   |
| ⑤ | {ア：閉じた状態で行い、プレス温度は 130℃以下 | イ：開けた状態で行い、プレス温度は 170℃以下 | ウ：閉じた状態で行い、プレス温度は 170℃以下} |

問3 次の文は、各種洗たく法についての記述である。文中の( )に当てはまる最も適当な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a ランドリー用水の条件として、無色透明であること、液体が中性(pH6~8程度)であること、( ① )であることが挙げられる。
- b ポリ塩化ビニル製品や耐ドライクリーニング性の無い樹脂を用いたプリント製品、絹素材で汗ジミのあるブラウス等を洗たくする場合は、( ② )で処理することが望ましい
- c ドライクリーニングの溶剤の沸点は、洗浄力と( ③ )。
- d 汚れはおよそ酸性であるため、界面活性剤とアルカリ剤を共存させると、洗浄の相乗効果が発揮される。このアルカリ剤として最も広く使用されているのは、( ④ )である。
- e 洗濯物に残留したアルカリを、「すすぎ」の最終工程で中和するのが( ⑤ )の役割である。

【語群】

- ① {ア：硬水 イ：純水 ウ：軟水}
- ② {ア：パウダークリーニング イ：ウェットクリーニング ウ：ランドリー}
- ③ {ア：関係があり、沸点が高い物ほど良い イ：無関係である ウ：関係があり、沸点が低いものほどよい }
- ④ {ア：次亜塩素酸ナトリウム イ：過ほう酸ナトリウム ウ：メタけい酸ナトリウム}
- ⑤ {ア：糊剤 イ：ろ過剤 ウ：サワー剤}

問4 次の文は、特殊品のクリーニング、シミ抜きについての記述である。文中の( )に当てはまる最も適当な語句を同じ番号の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- a 皮革は、( ① )性質があるため、注意する必要がある。
- b 毛皮の毛のクリーニングには、( ② )が適している。
- c 絹和服のクリーニング方法は、( ③ )を用いて、きもの全体を浸漬せずに、衿、袖口、裾、裾口等の一部の汚れを、ブラシを用いて汚れを除去する。
- d シミの判別は、肉眼だけではなく、( ④ )を用いると、不溶性のシミ、顔料、樹脂、カビなどの判別に有効である。
- e カーペットのクリーニングは、水洗いが最も洗浄効果が大きいですが、脱色や収縮のおそれのあるものには応用できない。ワッシャーに入らない大きなものについては、( ⑤ )によって洗浄する。

【語群】

- ① {ア：熱に弱く高熱を受けると柔軟になり伸びる イ：熱には強いが低温になると硬化収縮する ウ：熱に弱く高熱を受けると硬化収縮する}
- ② {ア：ランドリー イ：パウダークリーニング ウ：ドライクリーニング}
- ③ {ア：石油系溶剤 イ：中性洗剤 ウ：染み抜き剤}
- ④ {ア：ブラックライト イ：LEDライト ウ：拡大鏡}
- ⑤ {ア：ランドリー イ：ドライクリーニング ウ：シャンプークリーニング}

## 洗たく物の処理に関する技能

### 問1 繊維の鑑別

(別紙A)の5つの布(①~⑤)を外観や手ざわりから鑑別して、下記の「繊維の種類」の中から該当するものを1つだけ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

#### 【繊維の種類】

ア：絹                      イ：羊毛                      ウ：ポリエステル                      エ：ナイロン  
オ：綿                      カ：麻                      キ：レーヨン                      ク：アクリル

### 問2 シミの鑑別とシミ抜き剤

(別紙B)の5つのシミを外観から鑑別し、下記の「シミの種類」の中から該当するものを1つだけ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

また、それぞれのシミについて最も適当なシミ抜き剤を下記の「シミ抜き剤」の中から1つだけ選び、その記号をシミ抜き剤の解答欄に記入しなさい。ただし、シミ抜き剤は重複して選ばないこと。

#### 【シミの種類】

①カビ                      ②血液                      ③しょう油                      ④黒インク                      ⑤マニキュア  
⑥口紅                      ⑦鉄さび                      ⑧青インク                      ⑨チューインガム

#### 【シミ抜き剤】

ア 酢酸エチル・酢酸アミル・二硫化炭素の混合物  
イ 高級アルコール系洗剤溶液及び後処理、または良質のプロテアーゼ水溶液  
ウ シンナー、または酢酸アミル  
エ 次亜塩素酸ナトリウム 2%処理後、チオ硫酸ナトリウム 1~2%  
オ ロート油及び事務用糊  
カ 石油系ドライ洗剤・石油系溶剤・モノクロロベンゼンを主とした混合物  
キ ぬるま湯・洗剤液、または高級アルコール系洗剤溶液及び酸化漂白剤  
ク 水で希釈したロート油及び水溶性の後処理  
ケ シュウ酸 1~2%溶液、またはフッ化水素 10%溶液  
コ 石油系溶剤及びシミ抜き剤



平成23年度福岡県 クリーニング師試験  
解答用紙 (筆記)

受験番号	
氏名	解答

衛生法規に関する知識

問1					問2				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
ウ	ア	イ	ア	ウ	ウ	イ	イ	ア	ウ

問3					問4				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
イ	エ	カ	ク	ケ	ア	エ	オ	キ	ケ

③～⑤は順不同

④～⑤は順不同

公衆衛生に関する知識

問1					問2				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
ウ	ウ	ア	イ	イ	イ	ア	イ	ア	ア

問3					問4				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
ウ	ケ	ア	エ	ク	オ	ケ	イ	ク	エ

洗たく物の処理に関する知識

問1					問2				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
ア	イ	イ	ア	ウ	イ	ウ	ア	ア	ア

問3					問4				
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
ウ	イ	イ	ウ	ウ	ウ	イ	ア	ウ	ウ

平成23年度福岡県 クリーニング師試験  
解答用紙(実技)

受験番号	
氏名	解答

洗たく物の処理に関する技能

問1	(別紙A)				
	①	②	③	④	⑤
繊維の種類	イ	オ	ウ	ア	エ

問2	(別紙B)				
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
シミの種類	8	4	3	5	6
シミ抜き剤	ク	オ	キ	ウ	カ